

令和5年度「南城市幼小連携事業」活動記録簿
 おおごと保育園公開保育及び合同研修会 令和5年8月15日(火)

幼小連携アドバイザー	伊集 恒子	実施場所	おおごと保育園・大里北小学校
実施日時	公開保育 9時10分～9時50分 合同研修会10時10分～12時		
目的	保育園の公開保育を通して幼児期の発達や学びを理解し、「子どもの姿を中心に」保幼こ小中の先生方が語り合い切れ目のない教育を目指す。		
対象者	大里北小学校・大里中学校・大里北小学校区幼児教育施設の職員、その他		
参加者	保育施設18名、小中11名、その他8名、行政9名、計46名		

1 内容

〈公開保育の様子〉おおごと保育園 9:00～9:50



地域の行事に参加した子ども達！
土俵を作りお相撲ごっこが始まった

〈合同研修会の様子〉大里北小学校 10:00～12:00 司会：小学校1年生担任



2 成果（おおごと保育園）

- ・公開保育を通して園内研修を深めていく事が出来た。具体的な事を振り返りにより、アドバイスをいただく事によって子どもの姿の発展につながった。
- ・職員が同じ目標に向かってお互いを認め合い学び合い資質の向上への第一歩となった。

3 課題（おおごと保育園）

- ・園内の自然環境の見直し、園庭での水場の発展、植物植栽計画、虫や蝶を呼ぶための環境づくり。

4 改善策（おおごと保育園）

- ・園内研修で共通理解をし、環境の改善等を伝え合いながら子どもに合った、園に合った環境作りを進めていく。

5 指導助言

〈保育者・教師の同僚性〉

- ・年上からも学ぶ年下からも学ぶ、誰からでも学ぶ・フラットな関係性・完成形を求めない
- ・保育者同士で子どもの成長を分かち合う。(次週はこうなってほしい、もっと遊び込んでほしいな)

〈環境構成・保育者の援助〉

- ・子ども達は園内のすべての場所でわくわくできる・自由に使ってほしい・できる限り制限なく
- ・保育者の援助・ゆったりとした雰囲気・先回りしすぎない・保育者も一緒に試行錯誤する
- ・遊びの持続・探究へ・探究を子どもに見える形にしていく協働的に(記録する、調べる、表現する)

6 その他 *参加者からの学びや感想

- ・子ども一人一人が自分の意志を尊重され意思決定し行動できる(遊びに没頭・集中する)からこそ主体的に意欲的に遊びこんでいけると感じた。
- ・朝の会をなくし十分遊べる環境を作りしていた。
- ・先回りしすぎない適切な保育者への援助が素晴らしい。一緒になって寄り添いながら子どもの遊びを膨らませ、イメージできるような声掛けが良かった。
- ・子ども自身がやりたいことにむかって他の子ども達と協力しながら探究していく姿を、小学校でも問いが生まれる授業へと繋げていけるようにしたいと思った。
- ・幼小接続について幼児期の遊びが児童期へとつながる事、その具体例を見ることができ、小学校での環境や言葉かけ子どもとの関わり方を授業づくりに活かしていく。

